

令和二年度 学校通信 根石だより

令和二年七月七日

岡崎市立根石小学校



7月号



校庭南側の桜の木の根元にアジサイが咲いています。



体育館の軒下にはハゲが巣を作っています。

「かわいい子には旅をさせよ」

校務主任 倉橋重夫

緊急事態宣言が解除され、一か月余りが過ぎました。プロ野球・Jリーグも再開され、甲子園大会に代わる大会も各地で始まりました。有名なテーマパークも入場者数を制限して再開されました。少しずつではありますが、元の生活に戻りつつあります。学校でも、部活動を再開するなど、感染症と熱中症に気を付けながら、少しずつ元の学校生活に戻りつつあります。

例年ならば、今年の夏休みをどう過ごそうか、どこに旅行に行こうかと考え、想像を膨らませて楽しんでいるのだと思います。しかし、最近の東京での感染者数を考えると、元の生活に戻るには時間がかかりそうです。

まだまだ不自由で不便な生活が続きそうですが、昔に比べれば随分と便利な世の中になっています。「便利」とは、国語辞典で調べると「役に立つこと」と書いてあります。便利な生活とは、人がしなくてもいいことや考えなくてもいいことが増え、楽に生活できることでしょうか。

例えば、昔の人はお風呂を沸かすのに、薪を細かく鉦で割りマッチで火をつけました。今は、ボタン一つで温度から湯量まで調節してくれます。随分と楽になりました。昔は、マッチで火を点けることができなければ、お風呂を沸かすこともご飯を炊くこともできなかったのです。したがって、誰でもマッチを擦ることができ、薪を鉦で割ることができました。今の子どもはどうでしょうか。いったい何人の子が、マッチを使ったことがあるでしょうか。薪を鉦

で割ることができのでしょうか。

昔は、車で遠くに出かける時は、地図で道順を調べたものです。途中で渋滞に合えば、どのように迂回すればよいのかを、地図を見ながら考えたものです。ところが今はどうでしょうか。カーナビに目的地を入力すれば、道案内をしてくれます。言い換えれば、機械の言うとおりに車を運転すれば目的地に行くことができるのです。何も考えることなく、ただ機械の言うとおりにすれば間違いがないのです。どちらが主でどちらが従でしょうか。

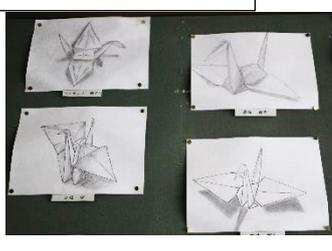
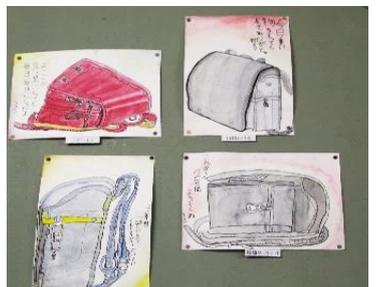
最近では、人工知能が個人のデータを分析し、その人を評価し企業の採用や人事管理に活用しているところがあると聞きます。病気の診断も人工知能が行うようになっているとも。近い将来、人生相談や恋愛の相談も人工知能がするようになるのではないのでしょうか。

便利になることで、ヒトは重労働から解放されてきました。それは、とてもよかったと思います。しかし、便利さを求めるあまりに、ヒトができることを減らし、考えることさえをなくそうとしているように思えてならないのです。ヒトは、不便さを克服するために色々なものを開発し、多様な仕組みを考えてきました。ヒトが成長するためには、ある程度の不便さが必要なのではないのでしょうか。それは、我慢をするとか人と協調することにも関係していると思います。

ことわざに「かわいい子には旅をさせよ」とか「若いころの辛労は買ってもせよ」があります。まさにその通りだと私は思います。



各学年の掲示板には図工の作品が掲示されています



学校再開から1か月 通常の学校生活が戻りつつあります



1年学校探検



部活動



5年書写



3年理科



5年国語



3年理科



2年国語



4年算数



6年外国語



6年図工

今後の予定

20	月	給食終了 一斉下校 15:50
21	火	35分4時間授業開始 一斉下校 11:00
27	月	学期末保護者会（～31日）一斉下校 11:00
8月		
7	金	終業式（4時間目）一斉下校 11:00
24	月	始業式（1時間目）部活動激励会 35分4時間授業最終 一斉下校 11:00
25	火	通常日課開始 給食開始
27	木	一斉下校 15:15
29	土	小学校水泳大会
31	月	防災訓練

- ※7月21日から8月7日までは7:50始業となります。登校の際に出発時刻が早まる班があります。10日(金)に通学団会を行い、お子様にお伝えしますので、集合・出発時刻をご確認ください。
- ※例年9月に行っております授業参観は本年度は行いません。なお、山の学習と修学旅行の説明会を9月8日(火)に行います。詳しくは別途配付の案内文書をご覧ください。
- ※2学期も行事等が中止、あるいは変更になっています。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

学校再開から1か月がたちました。不便なこともあります。新しい生活スタイルが定着しつつあります。部活動も限定的な活動ではありますが、再開しました。早く通常の生活に戻ることを祈りつつ、今は新しい生活スタイルで学校生活を送っていきます。